

## 「平成26年度 第2回県政モニターアンケート調査」 調査結果（概要）

県政モニターの皆様に対して、県政運営の参考とするために下記のとおりアンケート調査を行いました。

### 1 調査方法

- (1) 調査地域 : 長野県全域
- (2) 調査対象者 : 県政モニター(県内在住の20歳以上の男女)  
1,206人(無作為抽出1,110人、公募96人)
- (3) 調査方法 : 郵送又はインターネット
- (4) 調査期間 : 平成26年12月16日(火)～平成27年1月5日(月)

### 2 調査内容

次の3項目について19問を設定

- (1) 主要国首脳会議(G8サミット)について
- (2) 「信州の山」の取組について
- (3) 「長野県強靱化計画」について

### 3 回収状況

回収数 811人 (回収率 67.2%)

### 回答者の内訳

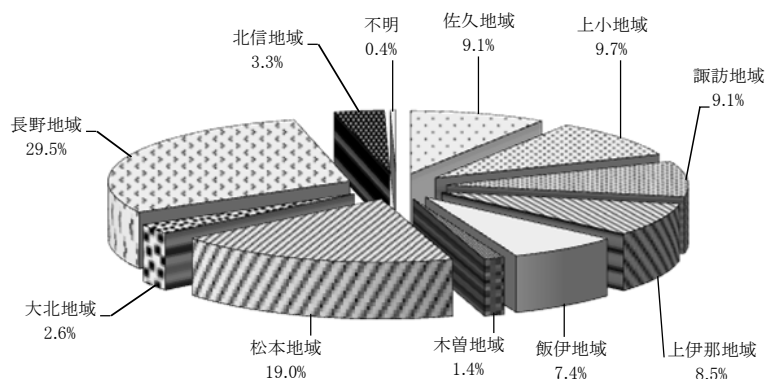
#### 【男女別と年代別】

	総 数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明
総 数	811	35	84	147	205	239	98	3
	100.0%	4.3%	10.4%	18.1%	25.3%	29.5%	12.1%	0.4%
男 性	468	18	39	86	117	153	55	—
	57.7%	2.2%	4.8%	10.6%	14.4%	18.9%	6.8%	—
女 性	340	17	45	61	88	86	43	—
	41.9%	2.1%	5.5%	7.5%	10.9%	10.6%	5.3%	—
不明	3	—	—	—	—	—	—	3
	0.4%	—	—	—	—	—	—	0.4%

※ 割合(%)はすべて、総数(n=811)に対する割合

#### 【地域別】

	総 数	佐 久	上 小	諏 訪	上伊那	飯 伊	木 曽	松 本	大 北	長 野	北 信	不 明
回答者数	811	74	79	74	69	60	11	154	21	239	27	3
	100.0%	9.1%	9.7%	9.1%	8.5%	7.4%	1.4%	19.0%	2.6%	29.5%	3.3%	0.4%



## 1 主要国首脳会議(G8サミット)について

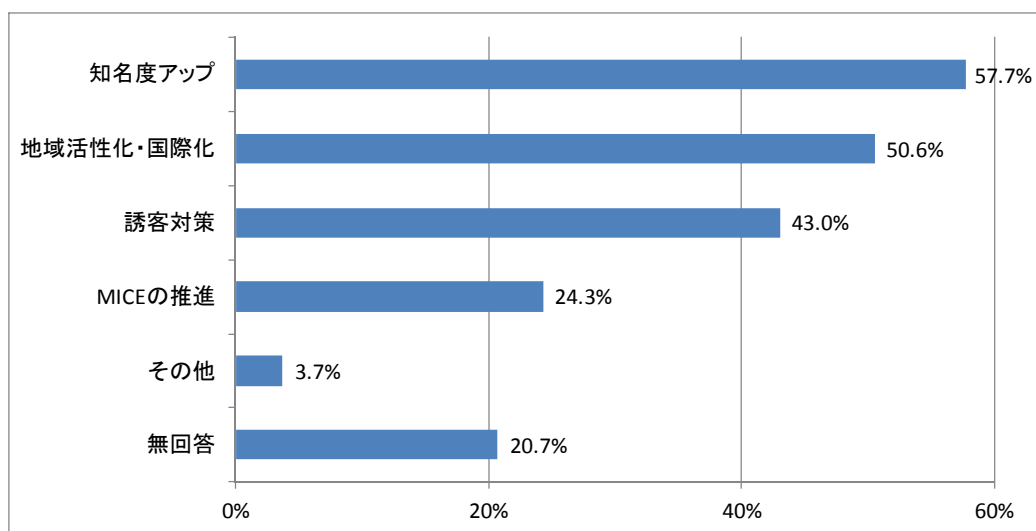
### 問1 サミット誘致の認知度

■長野県が軽井沢町を主会場としてサミットの開催地に立候補していることを「知っている」は7割弱

① 「知っている（聞いたことがある）」	67.1 %
② 「知らない（聞いたことがない）」	32.1 %
③ 無回答	0.9 %
(単数回答)	

### 問2 サミット開催による期待される波及効果

■サミット開催によるもっとも期待される波及効果は「知名度アップ」で約6割



## 2 「信州の山」の取組について

### 問3 「信州 山の日」の認知度

■「制定趣旨、期日を知っている」と「期日を知っている」と「聞いたことがある」を合わせて8割超

① 「制定趣旨、期日を知っている」	35.8 %
② 「制定趣旨は分からないが、期日は知っている」	12.7 %
③ 「聞いたことがある」	34.0 %
④ 「知らない」	17.0 %
⑤ 無回答	0.2 %
(単数回答)	

### 問4 平成26年に実施した「山」関連事業の評価

■「信州登山案内人で行く親子登山」、「信州 山の達人」、「市町村、団体等が実施した関連行事」が約3割

① 「信州登山案内人で行く親子登山」	33.4 %
② 「山に関連したきらりと光る活動を行っている方を募集した「信州 山の達人」	32.2 %
③ 「市町村、団体等が実施した「信州 山の日」関連行事」	28.5 %
ほか（複数回答）	

### 問5 「信州 山の日」の取組による「山」に関する関心の変化

■「関心が高まった」と「どちらかといえば関心は高まった」を合わせて約5割

① 「関心は高まった」	12.1 %
② 「どちらかといえば関心は高まった」	33.0 %
③ 「変わらない」	35.9 %
④ 「わからない」	1.4 %
⑤ 無回答	17.8 %
(単数回答)	

### 問6 「信州の山」の魅力を高め、活用するための大切な取組

■「森林(里山)の整備」が5割を超え、「子どもたちをはじめ多くの人たちが「山」に親しみ、学ぶ機会づくり」、「登山の安全対策」が約4割

① 「森林(里山)の整備」	53.4 %
② 「子どもたちをはじめ多くの人たちが「山」に親しみ、学ぶ機会づくり」	44.8 %
③ 「登山の安全対策」	41.7 %
ほか（複数回答）	

## 問7 森林税の認知度

■名称、税額に加え、使い道を知っている方が約4割、名称のみを知っている方を含めると認知度は約8割

①「名称、税額を知っており、使い道もよく知っている」	10.4 %
②「名称、税額を知っており、使い道もある程度知っている」	29.8 %
③「名称、税額は知っているが、使い道はよくわからない」	18.1 %
④「名称は知っているが、税額や使い道は知らない」	21.0 %
⑤「名称、税額、使い道ともに知らない」	20.7 %
(単数回答)	

## 問8 森林税の名称、税額、使い道等を知った広報媒体

■「広報ながのけん」、「新聞記事」が4割弱で最も高く、次いで「テレビ(ニュース番組)」が3割超

①「広報ながのけん」	38.8 %
②「新聞記事」	38.8 %
③「テレビ(ニュース番組)」	31.4 %
ほか (複数回答)	

## 問9 森林税の用途として重要な取組

■「手入れが遅れている森林の間伐」が約7割、「森林管理から木材の出荷・利活用にわたる知識と技術を有する人材の養成」が約4割、「地域の木材利用を促進する取組」が3割超

①「手入れが遅れている森林の間伐」	66.3 %
②「森林管理から木材の出荷・利活用にわたる知識と技術を有する人材の養成」	38.7 %
③「地域の木材利用を促進する取組」	33.8 %
ほか (複数回答)	

## 問10 森林税を活用した取組を通じた「森林」に対する関心の変化

■「関心が高まった」と「どちらかといえば関心は高まった」を合わせて6割超

①「関心は高まった」	15.4 %
②「どちらかといえば関心は高まった」	46.4 %
③「変わらない」	30.0 %
④「どちらかといえば関心は低くなった」	0.6 %
⑤「関心は低くなった」	0.4 %
⑥「わからない」	6.3 %
⑦ 無回答	1.0 %
(単数回答)	

### 3 「長野県強靱化計画」について

#### 問11 脅威に感じる自然災害

■「巨大地震（断層地震など）」が約8割

① 「巨大地震（断層地震など）」	77.9 %
② 「豪雨災害」	44.9 %
③ 「巨大地震（南海トラフ地震や東海地震など、津波を伴う地震）」	39.2 %
ほか（複数回答）	

#### 問12 事前に備える目標

■「必要最低限のライフライン（電気・ガス・上下水道・燃料・交通ネットワーク等）が確保されること」が約6割

① 「必要最低限のライフライン（電気・ガス・上下水道・燃料・交通ネットワーク等）が確保されること」	57.6 %
② 「人命の保護が最大限図られること」	56.8 %
③ 「救助・救急、医療活動等が迅速に行われること」	46.7 %
ほか（複数回答）	

#### 問13 事前に備える対策

■「道路等インフラ・物流機能の耐災害性の強化」が約5割

① 「道路等インフラ・物流機能の耐災害性の強化」	46.0 %
② 「公共施設の耐震化・整備（避難所・医療施設・行政機関）」	38.5 %
③ 「地域コミュニティ（自主防衛組織）の防災力の強化」	27.1 %
ほか（複数回答）	

#### 問14 地震で心配すること

■「食料・飲料水、燃料、日用品などの確保が困難になること」が約7割

① 「食料・飲料水、燃料、日用品などの確保が困難になること」	67.2 %
② 「電気、水道、ガスの供給停止」	67.0 %
③ 「建物の倒壊・損壊」	65.4 %
ほか（複数回答）	

#### 問15 火山で心配すること

■「大量の降灰の発生」が約7割

① 「大量の降灰の発生」	69.2 %
② 「噴石の飛散」	47.8 %
③ 「降灰による健康被害の発生」	44.5 %
ほか（複数回答）	

### 問16 災害情報の入手先

#### ■「テレビ」が約9割、次いで「ラジオ」が5割超

① 「テレビ」	85.9 %
② 「ラジオ」	52.4 %
③ 「防災行政無線」	20.1 %
	ほか（複数回答）

### 問17 災害時に欲しい情報

#### ■「現在の道路情報」が約6割、次いで「道路等の今後の復旧見通し」が4割超

① 「現在の道路情報」	56.2 %
② 「道路等の今後の復旧見通し」	40.8 %
③ 「現在の公共交通機関の運行情報や復旧の見通し」	35.1 %
	ほか（複数回答）

### 問18 大規模自然災害おける最悪の事態

■ 「死傷者の発生」、「地震等による家屋の倒壊」、「ライフライン(電気、ガス等)の途絶」に関する意見が比較的多く寄せられた。

① 「死傷者の発生」	222 （記述された内容の数）
② 「地震等による家屋の倒壊」	212
③ 「ライフライン(電気、ガス等)の途絶」	203
	ほか
	（自由記述：記述内容の総数：1,564）

### 問19 最悪の事態に対して、行っている(行いたい)対策

■ 「水、食料等の備蓄」、「乾電池、衣類、その他生活用品の備蓄」に関する意見が比較的多く寄せられた。

① 「水、食料等の備蓄」	396 （記述された内容の数）
② 「乾電池、衣類、その他生活用品の備蓄」	187
③ 「避難場所の確認（家族間で共有）」	95
	ほか
	（自由記述：記述内容の総数：1,258）